(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月23日

上場会社名　パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4283　URL　http://panasonic-denkois.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）河村　雄良
問合せ先責任者（役職名）取締役　経理部長　（氏名）丸岡　裕征　TEL 06-6906-2801
四半期報告書提出予定日　平成21年11月5日　配当支払開始予定日　平成21年11月30日

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,305	△0.7	2,383	5.3	2,401	3.3	1,416	2.8
21年3月期第2四半期	18,427	—	2,262	—	2,324	—	1,377	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	132.96	—
21年3月期第2四半期	129.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	23,643	18,606	78.6	1,743.10
21年3月期	23,211	17,604	75.7	1,649.15

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　18,574百万円　21年3月期　17,573百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	32.50	—	42.50	75.00
22年3月期	—	32.50			
22年3月期（予想）			—	32.50	65.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.8	4,650	0.4	4,750	0.2	2,820	1.3	264.64

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

［（注）詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。］

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	10,656,000株	21年3月期	10,656,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	66株	21年3月期	63株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	10,655,934株	21年3月期第2四半期	10,655,937株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、輸出の回復や在庫調整の進展、前政権下で実施された経済対策の効果などにより景気の持ち直し傾向が鮮明になってきたものの、依然として残る雇用・設備の過剰感や円高進展の懸念などから、持続的な回復に向けては不安を残した形で推移いたしました。

情報サービス産業においても、企業の設備投資が抑制されるなか、IT投資に先送り傾向が示されるなど、厳しい状態が続いております。

当社グループは今年度の経営方針を「原点に立ち返る」とし、景気の動向に左右されにくいシステム運用サービスを軸に、現場をよく知る当社ならではの商品・サービス・ソリューションの提供に努めることでパナソニック電工グループ外への売上拡大を図るとともに、合理化の徹底、品質マインドの醸成、新技術への取り組み、人材育成の4テーマに基づく経営体質改善ならびに基盤強化に取り組んでおります。

(1) 当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績

	前第2四半期連結累計期間（百万円）	当第2四半期連結累計期間（百万円）	比較増減（%）
売　上　高	18,427	18,305	△0.7
営業利益	2,262	2,383	5.3
経常利益	2,324	2,401	3.3
四半期　純利益	1,377	1,416	2.8

当第2四半期連結累計期間におきましては、自らの経験を活かしシステム運用の合理化をめざす企業に提案した運用統合・サーバ統合案件や、ワークフローパッケージが好調に推移したことにより、パナソニック電工グループ外への売上が伸長いたしました。しかしパナソニック電工グループ各社への売上は低調であり、また、これまで継続して取り組んできたパナソニック電工株式会社向け基盤システム再構築案件が終結に向かい、7月以降の同社への売上が減少いたしました。以上により、当第2四半期連結累計期間の売上は、前年同期と比べわずかに減収となりました。

利益につきましては、原価の見える化による外注コストの削減など、徹底した合理化による経営体質の改善に努めた結果、7月以降の減販の影響は受けましたが、増益となりました。

【参考】 当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）

	前第2四半期連結会計期間（百万円）	当第2四半期連結会計期間（百万円）	比較増減（%）
売　上　高	10,150	9,577	△5.6
営業利益	1,366	1,332	△2.5
経常利益	1,406	1,348	△4.1
四半期　純利益	825	784	△5.0

(2) 当第2四半期連結累計期間における取り扱い品目別の状況

①システムサービス

当第2四半期連結累計期間における売上高は117億7千3百万円（前年同期比1.5％減）、売上高総利益率は22.7％（前年同期は20.0％）となりました。

厳しい経済環境のなか前年同期に比べ減収となりましたが、売上高総利益率につきましては、徹底した合理化を進めた結果、改善いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間における売上高は58億9百万円（前年同四半期比1.8％減）、売上高総利益率は24.4％（前年同四半期は22.1％）となりました。

② システムソリューション

当第2四半期連結累計期間における売上高は37億2千4百万円（前年同期比3.7％増）、売上高総利益率は17.5％（前年同期は22.1％）となりました。

パナソニック電工ネットソリューションズ株式会社が開発・提供するワークフローパッケージ「総二郎」「MajorFlow」が売上増に寄与いたしました。また、大手通信会社向けWebシステム構築などを受託したほか、昨年度に引き続き新商品の創出を積極的に推進し、eラーニングシステムのリニューアルバージョンや、Googleが提供するWebアプリケーションサービスと既存システムとの連携アダプタなどを新たに発売いたしました。しかし、パナソニック電工グループ各社への売上が低調であり、また、これまで継続して取り組んできたパナソニック電工株式会社向け基盤システム再構築案件が終結に向かい、7月以降の同社への売上が減少した結果、増収幅は第1四半期に比べ縮小いたしました。

売上高総利益率につきましては、前年同期に比べて利益率の高い案件が少なかったため上記の結果となりましたが、システム開発の効率化や原価の見える化による外注コスト削減などに継続して取り組んでおります。

なお、当第2四半期連結会計期間における売上高は23億2千5百万円（前年同四半期比8.8％減）、売上高総利益率は14.0％（前年同四半期は17.7％）となりました。

③ システム機器・通信機器関連

当第2四半期連結累計期間における売上高は28億7百万円（前年同期比2.9％減）、売上高総利益率は19.0％（前年同期は14.9％）となりました。

機器更新の先送りや買い控えの影響を強く受けたことから、前年同期に比べ減収となりましたが、お客さまの合理化ニーズにお応えする商品として昨年度から提案を強化している「Egenera® BladeFrame®」やビデオ会議システムの売上は好調に推移し、これらの機器は売上高総利益率の改善にも寄与いたしました。

厳しい経済環境のなか、企業の設備投資は引き続き抑制傾向にありますが、業務の効率化・合理化のニーズは高まっております。当社は、自らのユーザー経験を活かし、このようなお客さまの需要を確実に取り込むことで、さらなる売上増加を図ってまいります。

なお、当第2四半期連結会計期間における売上高は14億4千2百万円（前年同四半期比14.3％減）、売上高総利益率は20.5％（前年同四半期は16.4％）となりました。

2.　連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べ1.9％増加し、236億4千3百万円となりました。これは主に、流動資産で受取手形及び売掛金が13億5千9百万円減少したこと、預け金が5億7千5百万円増加したこと、現金及び預金が4億7千4百万円増加したこと、工事未収入金が4億3百万円増加したこと、投資その他の資産で前払年金費用が1億2千万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ10.2％減少し、50億3千6百万円となりました。これは主に、未払金が6億3千8百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が1億2千万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ5.7％増加し、186億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億6千3百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は49億8千6百万円となり、前第2四半期末に比べ8億3千1百万円増加いたしました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

24億8千5百万円の収入（前年同期比3億3百万円増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益24億1百万円、減価償却費6億2百万円、売上債権の減少9億5千5百万円、法人税等の支払8億3千万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

9億8千5百万円の支出（前年同期比13億7千4百万円減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得7億6千7百万円、ソフトウエアの取得1億6千3百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

4億8千1百万円の支出（前年同期比1億3千4百万円増）となりました。

主な要因は、配当金の支払4億5千2百万円であります。

④フリーキャッシュ・フロー

上記営業活動及び投資活動の結果、14億9千9百万円の収入となりました。

3.　連結業績予想に関する定性的情報

景気は持ち直し基調にありますが、持続的な成長への道筋はいまだ不透明であります。したがって、現時点におけるこれらの状況が当社グループの今後の業績に与える影響について予測することは困難であるため、平成21年4月23日発表の業績予想を変更しておりません。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号　平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号　平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は403百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ94百万円増加しております。

②表示方法の変更

（売上高・売上原価）

前第2四半期連結累計期間において、売上高・売上原価は合計額での表示としていましたが、より有用な情報提供を目的として当第2四半期連結累計期間よりシステムサービス売上高（売上原価）、システムソリューション売上高（売上原価）、システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）の3つにそれぞれ区分することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間におけるシステムサービス売上高（売上原価）、システムソリューション売上高（売上原価）、システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）は、それぞれ11,946百万円（9,556百万円）、3,590百万円（2,795百万円）、2,891百万円（2,459百万円）であります。

また、前第2四半期連結会計期間におけるシステムサービス売上高（売上原価）、システムソリューション売上高（売上原価）、システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）は、それぞれ5,916百万円（4,610百万円）、2,550百万円（2,098百万円）、1,683百万円（1,407百万円）であります。

（受取配当金）

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「受取配当金」は、重要性が増したため、第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取配当金」は1百万円であります。

なお、上記以外につきましては、最近の有価証券報告書（平成21年6月18日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

5.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990	516
受取手形及び売掛金	5,409	6,768
工事未収入金	403	－
たな卸資産	660	618
繰延税金資産	231	272
預け金	10,740	10,165
その他	472	296
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,906	18,636
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	766	796
工具、器具及び備品（純額）	1,249	1,269
リース資産（純額）	172	112
建設仮勘定	467	464
有形固定資産合計	2,655	2,642
無形固定資産		
ソフトウエア	498	500
その他	262	244
無形固定資産合計	761	745
投資その他の資産		
投資有価証券	313	251
長期貸付金	－	0
繰延税金資産	269	344
前払年金費用	478	358
その他	284	259
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	1,319	1,187
固定資産合計	4,736	4,575
資産合計	23,643	23,211

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969	2,090
未払法人税等	927	841
未払金	1,178	1,817
未払費用	348	386
未払消費税等	84	21
預り金	2	1
賞与引当金	184	176
役員賞与引当金	3	12
その他	171	121
流動負債合計	4,870	5,470
固定負債		
長期預り金	48	49
その他	116	87
固定負債合計	165	137
負債合計	5,036	5,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040	1,040
資本剰余金	870	870
利益剰余金	16,667	15,704
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,578	17,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△41
評価・換算差額等合計	△4	△41
少数株主持分	32	31
純資産合計	18,606	17,604
負債純資産合計	23,643	23,211

(2)【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	18,427	18,305
システムサービス売上高	－	11,773
システムソリューション売上高	－	3,724
システム機器・通信機器関連売上高	－	2,807
売上原価	14,811	14,443
システムサービス売上原価	－	9,096
システムソリューション売上原価	－	3,074
システム機器・通信機器関連売上原価	－	2,272
売上総利益	3,616	3,861
販売費及び一般管理費	1,354	1,477
営業利益	2,262	2,383
営業外収益		
受取利息	45	41
受取配当金	－	3
その他	17	2
営業外収益合計	63	47
営業外費用		
支払利息	1	4
その他	0	24
営業外費用合計	2	29
経常利益	2,324	2,401
税金等調整前四半期純利益	2,324	2,401
法人税、住民税及び事業税	882	892
法人税等調整額	63	91
法人税等合計	945	983
少数株主利益	0	1
四半期純利益	1,377	1,416

【第２四半期連結会計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成20年７月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	10,150	9,577
システムサービス売上高	－	5,809
システムソリューション売上高	－	2,325
システム機器・通信機器関連売上高	－	1,442
売上原価	8,116	7,537
システムサービス売上原価	－	4,389
システムソリューション売上原価	－	2,000
システム機器・通信機器関連売上原価	－	1,147
売上総利益	2,034	2,039
販売費及び一般管理費	668	707
営業利益	1,366	1,332
営業外収益		
受取利息	25	20
その他	16	1
営業外収益合計	41	21
営業外費用		
支払利息	0	2
その他	0	2
営業外費用合計	1	5
経常利益	1,406	1,348
税金等調整前四半期純利益	1,406	1,348
法人税、住民税及び事業税	756	600
法人税等調整額	△174	△36
法人税等合計	581	564
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	0
四半期純利益	825	784

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,324	2,401
減価償却費	417	602
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5	0
受取利息及び受取配当金	△53	△45
支払利息	1	4
売上債権の増減額（△は増加）	1,417	955
たな卸資産の増減額（△は増加）	△97	△41
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△159	△183
前払年金費用の増減額（△は増加）	△127	△120
仕入債務の増減額（△は減少）	△356	△120
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△324	△181
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△31	△4
その他	16	1
小計	3,031	3,270
利息及び配当金の受取額	46	50
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額	△895	△830
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,181	2,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△3,700	△3,700
預け金の払戻による収入	2,100	3,700
有形固定資産の取得による支出	△466	△767
ソフトウエアの取得による支出	△153	△163
投資有価証券の取得による支出	△66	－
その他	△73	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,359	△985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	－	△28
配当金の支払額	△346	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346	△481
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△524	1,018
現金及び現金同等物の期首残高	4,679	3,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,154	4,986

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

①事業の種類別セグメント情報

当社グループの事業は、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。

従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

②所在地別セグメント情報

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③海外売上高

海外売上高は連結売上高の10％未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6.　その他の情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注高及び受注残高の状況は、次のとおりであります。

①受注高

	前第2四半期 連結累計期間 （百万円）	当第2四半期 連結累計期間 （百万円）	比較増減 （%）
システムサービス	11,946	11,809	△1.1
システムソリューション	4,457	2,845	△36.2
システム機器・通信機器関連	97	110	13.5
合　　計	16,501	14,766	△10.5

（注）1.　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2.　システム機器・通信機器関連の受注高につきましては、「情報関連工事」のみ記載しております。

②受注残高

	前第2四半期 連結会計期間末 （百万円）	当第2四半期 連結会計期間末 （百万円）	比較増減 （%）
システムサービス	843	865	2.5
システムソリューション	4,945	2,120	△57.1
システム機器・通信機器関連	6	0	△86.9
合　　計	5,795	2,986	△48.5

（注）1.　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2.　システム機器・通信機器関連の受注残高につきましては、「情報関連工事」のみ記載しております。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		比較増減 （%）
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	
パナソニック電工（株）	10,804	58.6	10,565	57.7	△2.2
パナソニック電工グループ	3,287	17.9	2,785	15.2	△15.3
そ　の　他	4,336	23.5	4,953	27.1	14.2
合　　計	18,427	100.0	18,305	100.0	△0.7

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。